

## 第1号議案

### 2023年度活動計画

## 安心社会へ 新たなチャレンジ

### ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

#### 1. 新しい運動スタイルの構築に向けて

湘南地域連合は、ウィズコロナを踏まえた新しい運動スタイルの構築に向けて、「連合運動のモデルチェンジに向けた取り組み」を中心とする運動方針の確認をし、通常の活動においては、必要に応じたWEB併用での会議等が定着するなど、できる限りの活動を維持しています。

2022年10月には集合型のレクリエーション事業として、1,000名を超える仲間とともに「湘南地域連合30周年記念事業(新江ノ島水族館閉館後貸切)」を執り行いましたが、一方で、「新春のつどい」や「勤労者スポーツ交流会」の中止、WEBを活用したメーデーの実施など、未だに影響を受けている取り組みが併存している状況にあります。

#### (1) 私たちをめぐる情勢

引き続きコロナ禍において、「第7波」では7月末時点で新規感染者数が世界最多となり、感染力の強い株による感染拡大は、自宅療養者の増加、従業員の感染による深刻な人手不足を招き、私たちの企業活動にも大きな支障が出ました。

また、感染拡大に伴い、とりわけ非正規労働者においては、勤務日数・勤務時間の減少などによる収入減、雇用・就業形態の変更、業務内容の変更などの影響を受けています。なお、感染対策としては、「ウィズコロナ」への移行を基本に、行動制限を行わず経済活動との両立をはかる取り組みが進められており、昨年とは異なる状況にあります。

加えて、2022年2月からのロシアによるウクライナ侵攻は、物価の上昇、円安など、企業活動にとどまらず、私たちの生活に直結する様々な影響を及ぼしています。

そのような状況下において行われた「第26回参議院議員選挙」では、自民党が単独で改選過半数を上回る中、連合は「人物重視・候補者本位」で臨んだものの、選挙区、比例区ともに十分な結果は出たとは言えず、政局に大きな変化は生じませんでした。

今後、社会保障制度をはじめとした、人口減少社会の到来に伴う課題の克服に向け、新たな産業と雇用の創出、さらに多発する自然災害への対応など、地域における取り組みと国政における施策に対し、一層の緊密な連携が求められています。

私たち湘南地域連合は、湘南地域労働者福祉協議会(以下、「湘南労福協」)をはじめ、行政、各級議員団、関係各方面と連携を密にしながら、引き続き、課題解決に向けて取り組むとともに、地域活性化に向けた活動を推進する必要があります。

## (2) 湘南地域連合運動方針の補強に向けた視点

- ① 過去最大の感染拡大となった「第7波」の影響を受けた 2022 年度の取り組みを通じ再認識したことは、これまでの活動スタイルをベースに、感染対策として「人数や規模縮小」を反映した活動だけでは、私たちがめざす「ウィズコロナに適合した新しい運動へのモデルチェンジ」とは言えないということであり、改めてこの取り組みの難しさを体感した1年でありました。
- ② 連合運動のモデルチェンジとは、「いずれ元どおりの活動が出来るまでの調整」という位置づけではなく、ウィズコロナという環境を踏まえた、新しい運動や活動スタイルを創り出すことです。コロナ禍で開催を見送っている行事等については、ゼロベースで検討を進め、「新たな形」を創り出してこそ、運動のモデルチェンジとなります。このような考えのもと、具体的な活動において、そのあり方を再整理する取り組みを進めていく必要があります。
- ③ 2023 年度の取り組みは、今一度、連合運動のモデルチェンジの意味合いを共有し、これまでの運動の延長線上ではない、運動スタイル・活動スタイルへの転換に向けて、あらゆるチャレンジを行うとともに、長期化するコロナ禍で抱える諸課題、物価高の影響による暮らしや社会の課題などに対応すべく「地域で働くすべての仲間を支える運動」を深化させていくことが求められています。

加えて「中央会費制度」への移行など、連合運動を支える組織運営のしくみを変える取り組みの具体化を通じ、持続可能な地域連合の組織・財政・運動のあり方検討に着手する必要があります。
- ④ このような課題認識のもと、2年サイクルの運動における後半の活動の補強を行うものとします。

### 【補強の主なポイント】

#### ●「連合神奈川の日」のリニューアル

これまで感染拡大時には街宣行動を中止する対応で終わっていた活動のあり方を見直し、状況に応じた社会への発信として「SNS による広告宣伝」や「新聞折り込みチラシ」などあらゆる媒体を活用したウィズコロナに適応した運動スタイルへの転換に着手します。

#### ●地域活性化に向けた取り組み

商工会議所などとの関係を強化し、状況を見極めながら、地域フォーラムの開催を検討します。また、2022 年度期に B リーグ参入に向けた署名活動等の支援を行った湘南地域のプロバスケットボールチーム「湘南ユナイテッド BC」との連携を図り、ともに地域の活性化に取り組むとともに、構成組織での支援拡充に向けた施策を検討します。

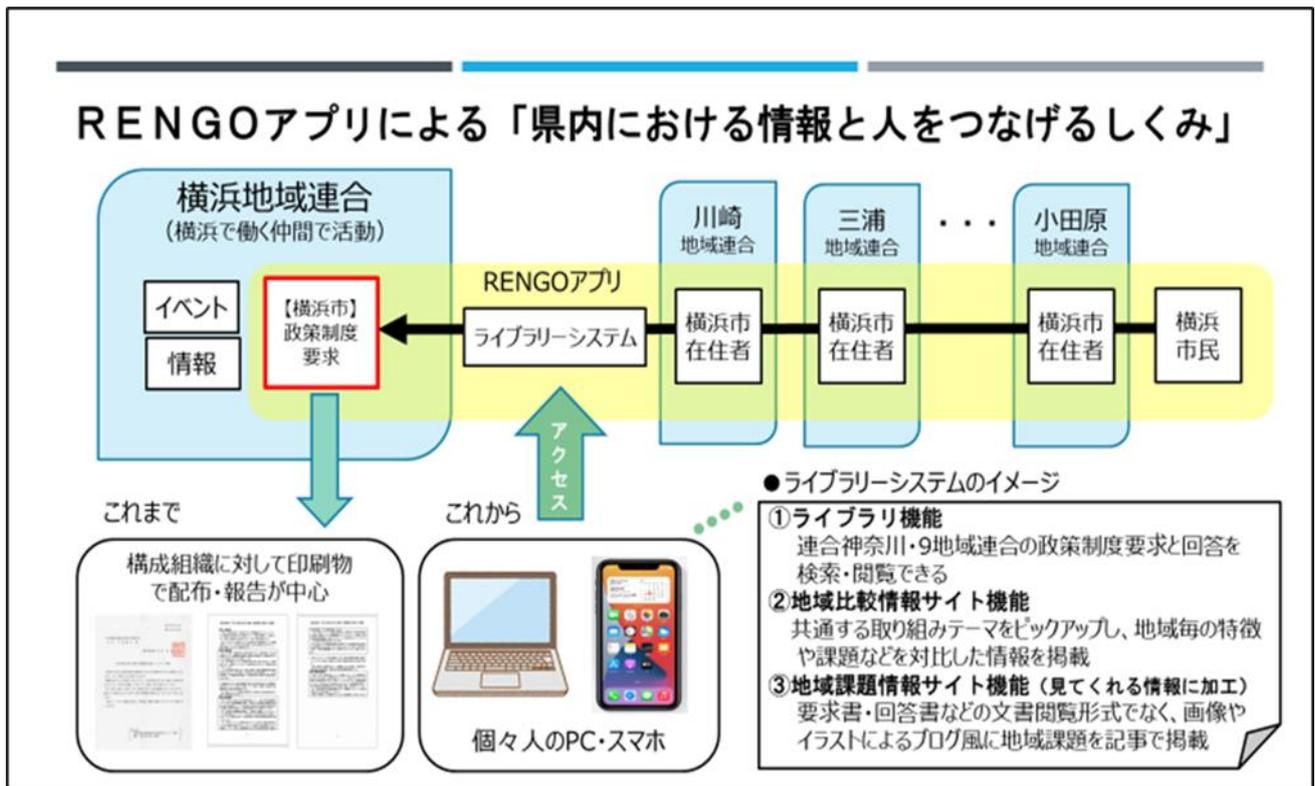
#### ●RENGOアプリを活用した「運動の見える化」の取り組み

連合神奈川が「県内における情報と人をつなげる」しくみづくりとして、導入するRENGO アプリ【第1STEP(※次項参照)】の周知、利用者拡大に向けて取り組みます。

## 【第1STEP】

- ・「政策制度要求と提言」の取り組みにおけるライブラリーシステム(仮称)を開発します。
- ・働く地域・暮らす地域の課題を見える化し、連合運動への共感と、運動への参画を広げます。※23年1月リリース予定

## ●RENGOアプリ【第1STEP】のイメージ



## 2. 活動の方向と基本

湘南地域連合は、連合神奈川の地域活動の拠点として、連合神奈川の運動方針を具体化することにより、雇用の確保、働く者の労働条件の維持・向上、格差是正、住みよいまちづくりを進めます。また、「with/after コロナ」時代を踏まえた労働運動の確立に向けて、新しい運動・活動スタイルを作り上げていきます。

これらの目的を達成するため、連合神奈川や各産別・単組、県内8地域連合と連携して次の活動を展開します。

### (1) 「40万連合神奈川」へ向けた組織拡大・組織強化の着実な前進と社会的影響力のある労働運動の強化

私たちのめざす社会の実現には、組織力を強化し、より連携を密に力強く労働運動を進めることが必要不可欠です。

労働組合の組織率が低下している中、連合神奈川においては「40万連合神奈川」の実現に向け、組織拡大・組織強化を目指した取り組みを推進しています。

湘南地域連合は、日常活動の充実・活性化を図りつつ、連合神奈川・産別と連携し、地域における未加盟労働者の加入促進に向けた働きかけを行います。また、各産別・単組に対しては非正規労働者を含めた組織拡大への取り組みの検討・要請を引き続き行います。

- ① 日常活動は、運営規則に基づき五役会議を中心に取り組み、幹事会については四半期に1回程度としながら、必要に応じて開催します。なお、各種機関会議の開催手法については、社会情勢を踏まえた手法によるものとします。
- ② 地域に密着した運動の前進・強化のために、藤沢、茅ヶ崎、寒川の各地域部会の開催をします。
- ③ 重要事項の決定にあたっては、必要に応じて構成組織代表者会議を開催します。
- ④ 組織拡大に向け、連合神奈川・産別と連携した三位一体の組織拡大を進めます。また、連合神奈川・産別からの要請に基づき、帯同オルグを実施します。
- ⑤ 組織力の向上のため、「湘南地域勤労者スポーツ交流会」をはじめ、湘南労福協とも連携して、構成産別、単組間の友好と連帯を深める取り組みを行います。また、連合神奈川等の企画にも積極的に参加します。
- ⑥ 発信力強化に向け、地域連合ホームページを活用し必要な情報発信に努めるとともに、引き続き、様々な情報発信ツール(Facebook、Twitter 等)の活用について検討を進めます。合わせて、今後導入が見込まれる「RENGO アプリ」の周知、利用拡大に向けて取り組みます。
- ⑦ 必要な情報発信により「運動の見える化」を進めるとともに、日常の地域活動を通じて、各産別・単組における若年層の多様なニーズの把握・共有化を図り、組織率の向上や非正規労働者の組合員化に取り組みます。
- ⑧ 地域活性化に向けて、これまでの取り組みを踏まえた湘南地域連合としてのテーマの推進とさらなる具現化に取り組みます。
- ⑨ 連合アクションの取り組みとして「連合神奈川の日」を毎月開催していくことを基本とします。手法については、街頭行動を中心としながらも、コロナ禍における新たな活動形態として、SNS 等による発信や新聞広告など、実態に合わせた手法を検討し、地域に顔が見える活動を展開します。

## **(2) 「働くことを軸とする安心社会」の構築に向けた政策・制度要求と提言活動の強化**

「働くことを軸とする安心社会」と「住みよい街づくり」の実現に向けては、地域経済の活性化をはじめ、環境、福祉、教育、人権・平和、行財政などの政策・制度の充実は不可欠です。

湘南地域連合は、「SDGs(持続可能な開発目標)」の視点も踏まえた「政策・制度要求と提言」を運動の大きな柱として位置づけ、構成組織・組合員の英知を結集し、政策実現に向け取り組むこととします。

- ① 構成組織・組合員の英知を結集した「政策・制度要求」活動を湘南労福協と協働で取り組みます。構成組織を対象とした「政策・制度要求」と「生活環境整備」の2本柱によるアンケート調査を実施し、要求・提言に反映します。また、構成組織の積極的な参加をめざし、活動の趣旨、必要性などについての啓発活動を積極的に取り組みます。
- ② 「政策・制度要求」は、湘南地域連合・湘南労福協「政策・制度部会」を中心に取りまとめを行い、五役会議・幹事会(拡大)において議論して決定します。
- ③ 「政策・制度要求」の実現に向け、組織内議員・推薦議員との連携・協力体制を強化するために、地域部会毎の懇談会等を開催します。また、2市1町の首長と連合神奈川・地域連合五役・湘南労福協役員による意見交換会「湘南政策懇談会」を実施します。
- ④ 地域における地方自治研究団体、湘南地域連合組織内議員、推薦議員と連携し、政策課題の提案に向け調査・研究に取り組みます。
- ⑤ 行政から派遣依頼のある各種審議会等については積極的に参加し、働くものの立場からの意見反映を図ります。

### **(3) 雇用創出・安定の取り組みとワーク・ライフ・バランスの実現、ワークルール・労働条件の確立**

ディーセント・ワークやワーク・ライフ・バランスの実現に向けては、「働き方改革関連法」の職場への定着を図るため、36協定の適正化や労働時間把握など長時間労働是正、有給休暇の取得促進の取り組みなどが必要です。

また、年金支給開始年齢の引き上げに対応した高齢期(65歳まで)の雇用環境整備などへ引き続き取り組みます。

- ① 雇用の創出・拡大の観点から、地域の産業活性化政策の一層の充実を各自治体に求めていきます。
- ② 高齢厚生年金の報酬比例部分の支給開始年齢の段階的な引き上げに対応し、65歳まで雇用継続できる環境整備を図るとともに、若年層の雇用環境の改善について対応の強化を図ります。また、各自治体の雇用政策に積極的に意見提言を行います。
- ③ 障がい者雇用の促進については、社会的弱者を守る視点で引き続き取り組みます。
- ④ 新しい分野や成長産業、社会的要求の高い分野での雇用創出については、そこで働く勤労者の視点での検証を加えながら取り組みます。
- ⑤ 生活と仕事の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に取り組みます。具体的には、「総労働時間の短縮」「不払い残業の撲滅」「諸休暇の取得促進」「子育て支援策の充実」などの改善に取り組みます。
- ⑥ 春季生活闘争については、各産別の取り組みを尊重しつつ、情報の共有化を図るとともに、情報交換会・学習会等を開催し、湘南地域での連帯を一層強化

します。また、春闘状況が厳しい単組には、必要に応じて五役を中心にオルグなどの支援活動を行います。

- ⑦ 非正規労働者の処遇改善、格差是正については、労働者全体の課題として認識して、取り組みを強化します。
- ⑧ 法定最低賃金の引き上げについては、連合神奈川・他地域連合と連携し、社会のセーフティネットとして有効に機能させるための取り組みを強化します。
- ⑨ 関係団体との共同による地域フォーラムの開催に向けた検討を進めます。

#### **(4) 平和と人権・ジェンダー平等社会の実現**

「平和」と「人権」を守り、職場や地域において男女がともに生き生きと活躍できる場の実現に向けて取り組みます。

- ① 「男女共同参画社会基本法」の趣旨を踏まえ、男女共同社会の実現に取り組みます。
- ② 男女が共に担う労働運動の推進に向けて、各種取り組みにおける女性の参画を促します。
- ③ 「平和」「人権」の課題については、運動を共有できる市民・団体と連携して取り組みます。

#### **(5) 地域と協働した国民・県民運動の展開**

勤労者・生活者の生活コスト圧縮に向け、地域福祉の拡充に取り組みます。また、地域における活動を通じて、市民の理解と共感を得ることにより、連合運動を内外にアピールするとともに、地域における存在感を高めます。併せて、多発する自然災害等による被災者支援について、連合神奈川に結集した活動を行います。

- ① 文化・スポーツ活動については、地域の商業振興及び未組織対策推進の視点も含め、これまで同様、湘南労福協と一体となった活動を展開します。また、各自治体における懇話会等を通じて、中小企業、未組織労働者の福祉活動の前進にむけ、取り組みを進めます。
- ② 勤労者・生活者の生活コストを改善するため、地域福祉・企業内福祉のあり方等を見直すとともに、湘南労福協や各自治体と連携して地域福祉の充実に努めます。また、教育ローンの利子補給制度や生活支援については、引き続きその制度について広報を強化し、利用率の向上をめざします。
- ③ 商工会議所をはじめとした地域の団体との意見交換や要請行動の実施等を通じて「産・官・学・金・労・言」の幅広い関係者や地域住民とのつながりを構築し、連合運動の浸透を図ります。
- ④ フードバンクの活動を支え、事業に対する理解・共感を進める取り組みとして、フードドライブ活動に取り組むとともに、湘南労福協と連携し、施設見学やセミナーの開催などに取り組みます。

- ⑤ 連合神奈川ピースウィーク行動については、湘南地域連合として主体的に取り組みます。
- ⑥ クリーンキャンペーンなどの環境保護活動については、各自治体等と連携して活動するとともに、湘南地域連合による主体的な取り組みとして推進します。
- ⑦ 2023 年の第94 回メーデー湘南地区大会については、連合運動のモデルチェンジの視点に立ち、新型コロナウイルスの感染状況等、社会情勢を踏まえた開催方法について実行委員会を組織して検討を重ねていきます。

## **(6) 政策実現に向けた政治活動の強化**

生活者・勤労者の暮らしの「安心・安定・安全」をより高め、真の「ゆとり・豊かさ」を求めるためには、社会環境を総合的に改善していくことが必要不可欠です。国・地方にかかわらず、政治は私たちの生活に直結した場であることから、自治体・各級議会に対する、さらなる政策提言と連携を図ります。

- ① 2024 年までに施行される国政・地方選挙等においては、推薦候補者・組織内候補者の当選に向けて全力を挙げて取り組みます。とりわけ、来春に控える第 20 回統一地方選挙においては、組織内議員の 100% 当選を始め、すべての推薦候補者の必勝に向けた取り組みを展開します。
- ② 私たちの求める政策・制度の実現を図り、暮らしやすい街づくりのためには、政治活動は必要不可欠です。組織内議員をはじめ政策協定を結ぶ各級議員との連携を強化します。
- ③ 連合神奈川政治センターとの連携強化を図るとともに、連合本部・連合神奈川の議論を踏まえつつ、多くの政策を共有する政党や会派と連携し、「働くことを軸とする安心社会」の構築に向けた政策実現をめざします。
- ④ 各級選挙の候補者推薦(連合神奈川への上申)は、組織内候補者を中心としつつ、各地域における状況を考慮して決定します。
- ⑤ インターネットを活用した選挙運動について、SNS をはじめとした各種サービスを活用に向けた検討を進めます。